

2025年1月28日

愛媛県西予市での取組について

愛媛県西予市長

管家 一夫

【協力】 日本野鳥の会愛媛
宇和コウノトリ保存会
愛媛大学社会共創学部

代表 松田久司
会長 楠 健明
渡邊准教授



ツル類とコウノトリが飛来する地域です

2008. 12. 03撮影

近年のツル類の飛来状況

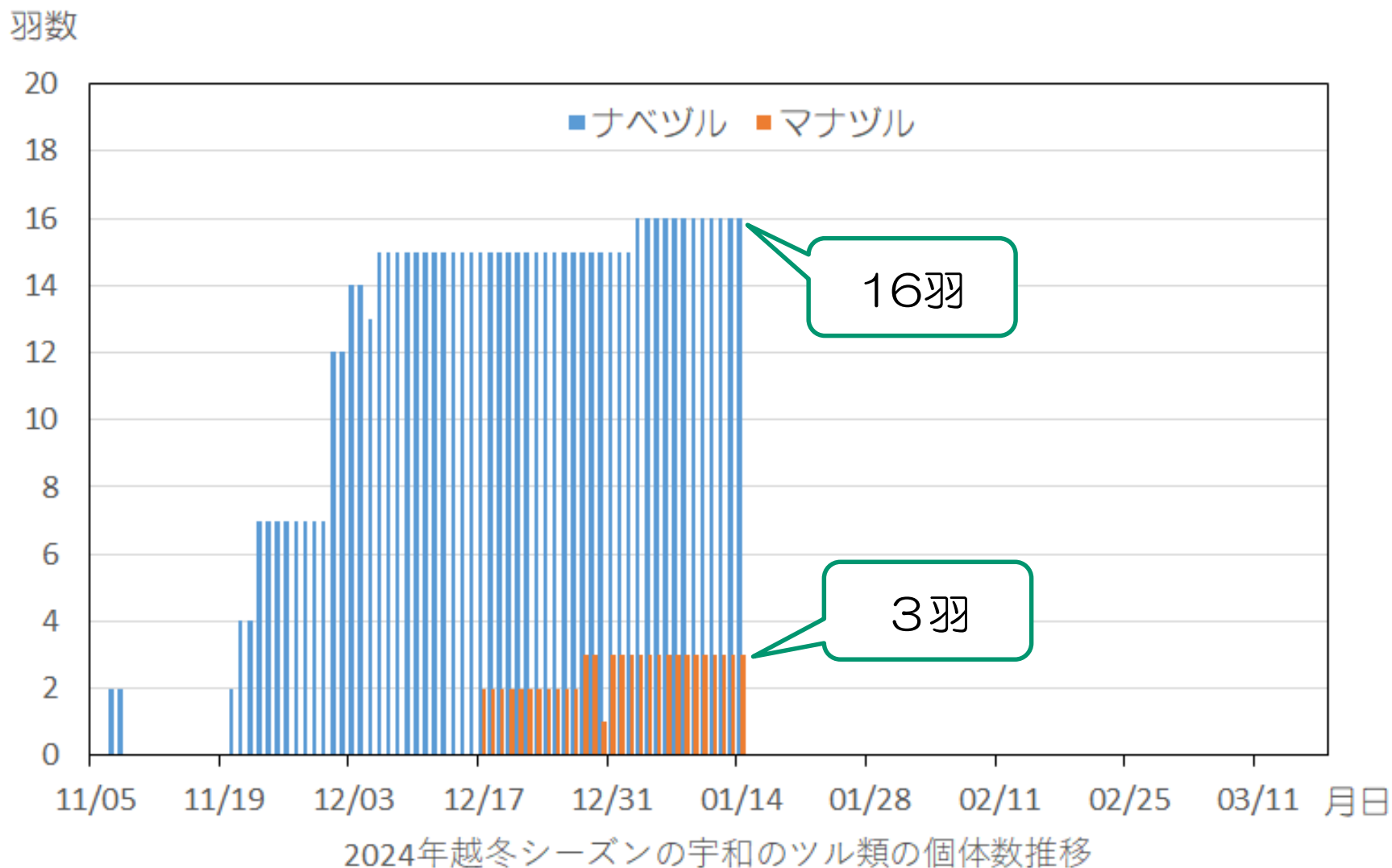
ナベツル

年度	2019	2020	2021	2022	2023
最大羽数	25	49	58	9	12
安定羽数	9	49	58	9	4
環境省 越冬基準		○	○	○	○

マナツル

2021年度に4羽が飛来し、環境省の越冬基準を満たしました

2024年シーズンのツル類の飛来状況



近年のコウノトリの飛来状況

年度	状況
2018- 2019	2018年1月から2019年の4月にかけて、宇和町■■■■から■■■■にかけて、足環なし幼鳥1羽が観察される。
2019	11月04, 05日に、宇和町■■■■で、J0222とJ0261の幼鳥2羽が観察される。07, 09日には宿毛で観察される。
2020	11月04日に、成鳥1のJ0214と幼鳥1のJ0280が、電柱にとまっているのが観察される。
2021	記録なし
2022	記録なし
2023	10月12日に、宇和町■■■■で5羽が観察され、識別番号が判明したのは、J0643, J0307, J0527の3羽であった。12日に■■■■で、13日に■■■■で、飛ぶ姿が観察されている。

希少種情報につき、推進協議会委員限り

希少種情報につき、推進協議会委員限り

2025年01月14日のナベヅル

([REDACTED])



2025年01月14日のマナヅル

([REDACTED])



西予市の保護活動の始まり

- 西予市では平成18年から国の特別天然記念物であるコウノトリが飛来するようになり、環境省レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類、種の保存法の国際希少野生動植物種に指定されているナベヅルやマナヅルの飛来も見られるようになってきました。
- そのような中、いずれも希少種であることから、地域住民から保全・保護の声が高まり、市の諮問で平成21年度に有識者や地元住民らによる「ツルと人の共生創造委員会」が設立され、その保全・保護の方針に関わる答申書を経て、平成22年度に田園ロマンの里づくり推進委員会設置要綱を策定し、ツルやコウノトリが飛来する地域の代表者や環境保護に関する活動を行うもの、農業団体関係者、学識経験者を含む委員会を設置しました。

平成21年 ツルと人の共生創造委員会による答申により、ツル・コウノトリを保全してくこととなった。

平成22年 田園ロマンの里づくり推進委員会設置以降、推進委員会を中心に、保護活動を実施。

協力団体

- 行政 西予市
- 市民団体 ツル・コウノトリと共生する山田の会
- 宇和コウノトリ保存会
- 伊賀上ロマンの里づくり会
- 一般社団法人ノヤマカンパニー
- 公益財団日本野鳥の会
- 日本野鳥の会愛媛
- 大学 愛媛大学社会共創学部
- 学校 石城小学校
- 企業 株式会社四電工

西予市の取り組みの歴史

年度	内容
—	(ほぼ毎年、冬季にナベヅルやマナヅルが飛来)
2006	コウノトリの飛来を初確認
2008	地元有志と電力関係会社がコウノトリの人工巣塔を設置
2009	西予市が「ツルと人の共生創造委員会」に諮問→答申受領
2010	西予市が「田園ロマンの里づくり推進委員会」を設置
2011	宇和コウノトリ保存会が水田魚道を整備
2014	「せいよ環境フォーラム（テーマがコウノトリとジオ）」を開催（せいよ環境フォーラム実行委員会、西予市が共催）
2015	西予市がツル渡来重点エリアを設定
2016	西予市がツル・コウノトリ見守り隊（ボランティア）を設置 「ツル・コウノトリフォーラム in せいよ」開催（市、日本野鳥の会、日本ツル・コウノトリネットワーク、田園ロマンの里づくり推進委員会の共催）
2017	西予市がツルのねぐらに野生鳥獣対策の防護柵を設置 イベント「ツルから探る江戸時代の宇和」開催（市、日本野鳥の会の共催）
2018	西予市がツル観察小屋を設置 イベント「ツルから探る西予の魅力～未来に残したい風景～」開催（市、市教育委員会、日本野鳥の会の共催）
2019	石城小学校向けに観察会を実施
2021	ツル・コウノトリ飛来地を四国西予ジオパークの生態サイトに指定
2022	西予市が「ツル・コウノトリと共生するまちづくり計画（ビジョン）」を策定

コウノトリ関連事業①

◆コウトリの営巣環境の創出

【生息環境づくり】

- ・コウノトリの繁殖用の人工巣塔（地域住民や企業の協力のもと西予市宇和町 3か所に計4基）が設置されています。
- ・これらの巣塔は、毎年10月頃に株式会社四電工より無償で点検作業を行っていただいています。

【取組主体】

宇和コウノトリ保存会、コウノトリ・ツルと共生する山田の会



(株)四電工による巣塔点検の様子



2018年2月16日の様子（宇和町）

コウノトリ関連事業②

◆小規模魚道(水田魚道)設置

【生息環境づくり】

- ・圃場整備などによって水路と水田の落差が生じて、魚が水田に出入りできなくなるのを防ぐために、4カ所に設置されています。

【取組主体】

宇和コウノトリ保存会、コウノトリ・ツルと共生する山田の会、伊賀上ロマンの里づくり会



魚道の設置（2011年）



そ上魚類の調査用小型定置網



2011年6月01日につかまったタモロコ

希少種情報につき、推進協議会委員限り

希少種情報につき、推進協議会委員限り

ツル類採食場整備事業②



渡来重点エリア看板

ツル類採食場整備事業③

見守り隊活動および観察小屋

◆市民によるツル・コウノトリ見守り活動

- ・飛来するツル及びコウノトリの保護活動等への理解を求めるとともに
住民参加型の取り組みを推進するためツル・コウノトリ見守り隊を設置して
おり、飛来時の見守り活動やマナーの啓発、保全環境の整備等を行っています。

【取組主体】

西予市、地域住民



ツル・コウノトリ見守り隊

観察小屋



観察小屋



ツル観察会(石城小学校)



環境学習の推進

◆環境学習の推進

地元石城小学校においてツル・コウノトリに関連した環境学習として、年数回にわたり、ビオトープや田んぼでの生き物観察、ツル類の観察会、デコイ設置体験等を実施しています。

その一環として、共にツルの飛来地である山口県周南市八代小学校と交流しています。



生き物観察会



ツルの観察会

環境学習の推進(交流)

◆環境学習の推進

地元石城小学校においてツル・コウノトリに関連した環境学習として、年数回にわたり、ビオトープや田んぼでの生き物観察、ツル類の観察会、デコイ設置体験等を実施しています。

その一環として、共にツルの飛来地である山口県周南市八代小学校と交流しています。

山口県周南市八代小学校との交流事業



希少種情報につき、推進協議会委員限り

ナベヅルもマナヅルも攪乱があると、
採食場近くの緊急ねぐらを利用しました



マナヅルは採食場近くの緊急ねぐらをねぐらとして使用しました



ツル類採食場整備事業⑤

誘致のためのデコイ設置

◆自然体験、環境教育の推進

- ・日本野鳥の会愛媛、西予市の共催で、地元石城小学校を対象としたツル・コウノトリに関連した環境学習を実施しており、その一環として、デコイ設置体験等を実施しています。

【取組主体】

日本野鳥の会愛媛、石城小学校、西予市





矢印はデコイ

ツル類ねぐら整備事業①

獣除けの金網柵をねぐら全体を囲うように設置



希少種情報につき、推進協議会委員限り

ツル類ねぐら整備事業②

ため池の栓打ち遅延・棚田の湛水

事業の初期は、水を引いたため池を ねぐらに使っていたために、
ため池の栓打ちを遅らせるようにお願いしていました。



ねぐら（水をためた棚田）のようす



センサーカメラにて撮影

採食場所の湛水田



ツル類ねぐら整備事業③

音声およびデコイ誘因

(環境越冬基準を満たさなかった次年度の2020年から実施しました。)

- ・ナベヅルのデコイ(実物大模型)を4体購入して、
低水位管理をしているため池とその上の棚田の一部の湛水田に2体ずつ設置をしていました。

近年は、ため池を使わなくなったので、2段の棚田の湛水田に2体ずつ設置。

- ・野外用(防水)スピーカーを設置して、ナベヅルの飛来時期より少し早い時期(10月下旬)から、ねぐら入り時間に一定時間(1時間程度)、ナベヅルの音声を流しています。

当初は[REDACTED]から提供されたものを使用しましたが、翌年度はからねぐら入りするときの鳴き声を録音し、それらを使うようにしました。

(注)当初デコイのみの計画でしたが、日本ツルコウノトリネットワーク総会において、鳴き声を追加しないと効果は半減するとのアドバイスを受けました。

実施写真

スピーカー設置



実施写真 デコイ設置



ツル類ねぐら整備事業④

監視カメラでの ねぐらモニタリング
ねぐらの監視カメラ設置



ねぐら立ち（動画）



ねぐら入り（動画）



希少種情報につき、推進協議会委員限り

希少種情報につき、推進協議会委員限り

ツル類関連調査②

ツル類の食料資源量調査(飛来前後の落穂と二番穂量調査)







これらの事業をもとにツル・コウノトリと共生する

◎西予市ツル・コウノトリと共生するまちづくり計画(ビジョン)を策定

人とツル・コウノトリとの関わり方、そして自然環境、地域社会 など将来について真剣に考え、自分たちの地域をどうしていくか、その基本方針を整理し、長期的なビジョンを持ってまちづくりを進めていくことを目的として、令和4年4月に策定しました。

基本方針

1. ツル・コウノトリと共に暮らし続けられる持続可能な環境の保全整備
2. ツル・コウノトリと共に暮らせる豊かさの享受
3. 未来の地域を創造する地域力の育成

◎西予市ツル・コウノトリと共生するまちづくり計画(実行計画)

計画(ビジョン)を実現してくために、令和6年度中に実行計画を策定するように進めております。



ご清聴ありがとうございました